

看護学専修 高度実践看護師(小児看護専門看護師) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

子どもと家族の状態(発達・健康・生活)をアセスメントし、直接的ケア、倫理的判断能力を発揮した調整、多職種や他の看護職との調整、相談、教育機能など必要な看護を高度な技術をもちいて実践できる。小児看護領域の援助・方略を開発できる。小児看護の発展を考え、研究成果を活用できる。

修了後の主な進路として、健康上の課題を持つ子どもとその家族を支援する保健・医療・福祉・教育の現場(小児医療施設、障害児施設、特別支援学校など)

3年次

【専門科目】

小児実践看護実習Ⅲ(6)

【特別研究】

実践看護課題研究Ⅰ(3)

実践看護課題研究Ⅱ(3)

2年次

【専門科目】

看護理論(2)

看護研究(2)

【専門科目】

小児保健医療福祉論(2)

小児看護援助法Ⅱ(2)

小児実践看護実習Ⅱ(2)

1年次

【共通必修科目】

IPW論

(専門職連携実践論)(2)

【専門科目】

コンサルテーション論(2)

看護学教育論(2)

フィジカルアセスメント(2)

病態生理学(2)

臨床薬理学(2)

【専門科目】

小児健康生活論(2)

小児看護学特論(2)

小児病態・治療学(2)

小児看護学演習(2)

小児看護援助法Ⅰ(2)

小児実践看護実習Ⅰ(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

学士課程における看護学の基礎的な科目全てを基盤とする。小児看護学領域について、知識だけではなく臨床実践能力を有し、子どもと家族の最善の利益のためのケアとキュアの統合をめざして、多角的見解から検討し、多様な人々と協働して問題解決にあたる意欲をもつことが望まれる。